

波紋

1992 5 第83号

森松の新しい顔



今年も新しい顔が4人、入社してきました。どの顔を見ても、「や
つたるぞ!!」という意気込みを感じます。それに、今年は皆かわい
りりしい人材ばかりで、仕事のやりがいを感じさせてくれるようです。
この時期になると、忘れかけていた「初心」を思い出し、新鮮な
気持ちにさせてくれます、新入社員4人も今の気持ち「初心」が大切
なので忘れないよう心掛けて下さい。

●交差点

ビニールはリサイクル優等生

地球温暖化・酸性雨等、環境問題がク
ロースアップされ、モーリンの主力商品であ
るビニールも、新聞・テレビによく出てく
る時代になりました。

一番問題なのは、自動車の排気ガスです。
その次はゴミの増加だと私は思います。

私たちは便利さにこだわり、大量消費、
使い捨ての生活様式になってしまった結果、
紙おむつ・カイロ・ライター・使い捨て
カメラ：過剰包装など、ゴミを増加させる
事に慣れてしまい、その結果、環境汚染の
原因を作り出してしまった。

資源が少ない日本、外国からの輸入に頼
らなければ原材料が入ってこない日本は、
もっと一生懸命、資源を大切に使う事を考
えなければいけない。我々の父母が言っ
ていた事を思い出してね。

再生紙・リサイクル紙と紙屋さんは最近
声高に言ってますが、我々ビニール屋は、
40年以上前から、鉄屋さんと同じように、
ビニールはスクラップをリサイクルしてき
ました。現在も、加工所から排出されたク
ズは100%近く、再生シートとして再利用さ
れています。クズ鉄屋さん、紙クズ屋さん
と同じように、ビニール回収で商売してい
る人もいますし、再生シート製造業で商売
している方もたくさん知っています。他の
プラスチックとは比較にならない程、リサ
イクルが発展しています。ビニール関係者
はもっと胸を張って、堂々としていいと思
います。

森 信 之

トシ君の一方通行 オレフィン記念日

3月28日、プロを招いてオレフィン勉強会を開催した。

「ビニールの森松」だけドP・Pは範中に入る筈。それなのに知識が大いに足りない。そこで、長谷川さんと光林さんにご来社願った訳。大変分かり易い説明で勉強になりました。

講演が始まる前に社長が挨拶の中で、今日はオレフィン記念日になりますねと言った。アツこれは良いと思って3月28日はオレフィン記念日だと勝手に決めちゃった。これについての社長の考え方、つまり何故ああいいう発言をしたかと説明すると――

色々塩ビが有罪扱いされて大変迷惑しているけど、現実には対応を求められています。塩ビは無罪であるという事は、我々は大いにアピールしなくてはならないけど、並行して色々な素材も扱うべきです。そこでオレフィンとは何ぞやという、つまり原点にかえり勉強しましょう。そして今日（3月28日）はそういう意味でオレフィン記念日にしましょう。まして遠方から来て頂いた長谷川さん・光林さんに感謝の念をつまみ、販売でお返ししましょう。だから忘れないように今日は、「オレフィン記念日」なのです……

とまあこういう事です。来年も3月28日は来ます。さあその日はどれだけお役にたっているでしょうか、楽しみにしています。

木村英利

森松クインテッド 考え方

世の中いろいろな人がいる。自分が、一番正しいと思っている人あたりまえのことだと思おう。

だが、一番正しいと思っていると疲れるのではないのでしょうか？

またほんとうに一番と思っているなら廻りには、誰もいなくなってしまう気がします。

私のように、教養がない人間は考え方が、貧困なので、深く考えることが苦手だ！ 勉強しなかったからだ。

今、反省しても小学校へ戻ることは出来ません。頭(教養)がだめなら身体(♥)で、考えようと思つてます。

仕事、営業をしている関係でいろいろな人と、出合う機会が有り、話をしていただいています。

話をしていきますと、こんな考え方があるのかと楽しくなることが有ります。いろいろ話を聞き勉強して

自分の仕事・遊びに生かしたいと思えます。

光田昭男

喜怒哀楽 カラオケ

名古屋はもう桜の花ビラが、路上からもなぐりかけてゆくころ、東北、山形では4月の末から5月の第1週にかけて満開になり、これで冬がすぎ、春になったんだなという実感が地元の人にはわいてくるわけで。でも今年も自分はいつのまにか冬がすぎて、又、熱すぎる夏がくるわけで。マー何を言いたいのやら……。そう世界中に広まったとも言えるカラオケ。カラオケで怒を喜に……哀を楽に……かえれたら一番良いとは思いますが、自分はまだ人達から見れば、よほど暗い歌を唄うらしい。でも最近はやや明るい歌も覚え、ちなみにそれは、JWARCKの「何も言えなくて……夏」その他で好きな曲は

沖縄民謡風な……花／喜納昌吉

ポップス演歌で……男と女の破片／前川清

奥入瀬／山本護二

自分の世界に入つて……

MIDNIGHT・FRIGHT

／浜田省吾

最後の言い訳／徳永英明

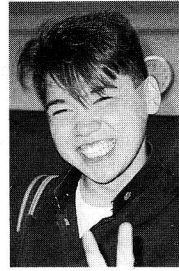
NEVER・CHANGE

／長瀬剛

最後に、今日はゆうせんでカラオケ教室などというジャンルがありまして、その中に、エルビス・プレスリーの「Cant Help Falling in Love」があるので、英語で唄える様、マスターしようと思つてます。

下垣紀一

新入社員紹介



平成四年四月一日に入社しました。もう、知っている方も多いと思いますが、日本福祉大学付属高校の卒業です。高校の三年間は、野球部でした。この会社にも野球部があるということなので試合がやりたくてしかたないです。今、こうやって仕事が始まってみると、正直言って毎日楽な気持ちははしません。高校生活というものが、どれほど楽なものだったかがわかります。今になってから、もっと遊んでおけばよかったです。

後藤 具崇



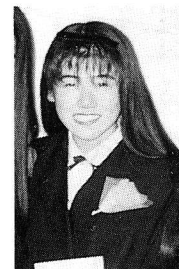
私は、森松に入社することができてとてもうれしく思っています。入社する前はどんな人がいるんだろう?とか、ちゃんと仕事できるかなあ?とか不安ばかりで働くのがイヤでイヤでしょうがなかったのですが、今働いてみて仕事の内容はまだ全然わかりませんが、先輩方はやさしくて、毎日が充実していて楽しいです。早く仕事になれて役に立つ社員になれるようにがんばります。初めてやる事ばかりなので緊張するし、ドキドキして、ワックワックドキドキの毎日です。わからない事ばかりで先輩に聞いてばかりいるので、もしかしたら、嫌がられてるんじゃないかなつというドキドキもあります。

辻中 まさえ



4月1日に入社致しました加藤公江です。桜と同時に第二の人生が始まったばかりの18歳です。花の高校生活も終わり、大人に一步近づきました。趣味は、クラシックからROCKN ROLLまで幅広く大きい音で音楽を聴くこととエレクトーンを弾くことです。

加藤 公江



もうと言うか、まだと言うかわからないうちに一ヶ月が経とうとしています。車では30分ぐらいのこの会社がバス↓電車↓バス↓徒歩で通うと1時間ちよつとかかってしまうとした時はどうしようかと思いましたが、なんとか6時起きにも慣れてきました。一本乗り遅れたら遅刻という恐怖とともに眠い目をこすりながら通っています。

趣味はこれというものはありませんが「趣味は」と聞かれたら一応「スポーツです」と答えています。スポーツの中では球技は好きですが泳げません。いろんなことに興味があります。自分の趣味はこれです。こののをみつけるのが社会人になつてからの目標の一つです。

仕事以外のこともいろんなことを知ってそれが仕事に役立てばいいなと思います。好奇心はいつまでも多く持ち続けたいです。

トロイので迷惑ばかりかけると思いますがよろしく願います。

坂柳 夕里

今月の社内行事

5月1日

豊作チーム
担当・常務

リーダー・田井村次長
十八時より 4F

2日

大和田さん誕生日

5日

長沢さん誕生日

6日

加藤先生来社十三時より

7日

編集会議

十七時半より 4F

8日

蓮根チーム
担当・常務

リーダー・吉岡課長
十八時より 4F

13日

(株)アコモ様竣工式

14日

改善審査委員会

15日

十八時より山口部長

18日

西垣さん誕生日

21日

生産会議

十八時より 4F

22日

社員旅行・第一班
27日まで

24日

中神さん誕生日

28日

経営会議

29日

十六時より
営業会議
十八時半より
社員旅行・第二班
6月3日まで

一泊研修旅行

三月二日・三日に、第四回社員一泊研修会が行われました。今年初めての研修会は、新入社員の四人を加え、新たな気持ちの中で始まりました。

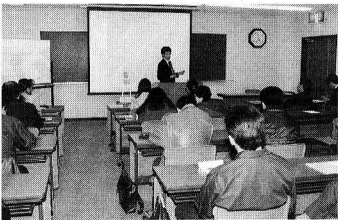
最初に、コンピューター新システムについての話があり、新コンピューターの機種、名称、特性などの説明がありました。伝票の打ち間違い防止の機能がついているみたいで、今後の伝票の正確さに期待ができます。

塩ビと環境問題の話では、塩ビの原料、塩ビ製品の占める割合、塩ビの国別生産量などの話から、環境問題であるリサイクル、焼却技術、酸性雨などの話までありました。また塩ビは、地球にやさしいものだという積極的な話もあり、聞く人の関心を集めました。スラング双六では、森松の社員として必要な基本知識やビニール知識、社会情勢・雑学など、さまざまな範囲からの問題があり、私もこのゲームに選抜され参加しましたが、仕事上に関わらない問題ばかり運悪く当たってしまい、本当に困ってしまいました。しかし、楽しく勉強することができたと思います。ちなみに、このゲームで使った出走馬名がとておかしく爆笑してしまいました。

二日目の研修「月で遭難した時にどうするか」では、グループの全員合意を目的とするコンセンサスゲームをしました。月で遭難なんて考えた事も無いし、それを自分の意見として主張するのは難しいですね。以前、砂漠で遭難というのもありましたが、今度は、海で船が沈没なのでしょいか。

期待しています。また、今回も研修場所を提供して下さいました新日本法規(株)様には、大変お世話になり有難うございました。

高橋武夫



編集後記

新入社員が入って、1ヶ月が過ぎ、ようやく社内の雰囲気もおちついてきました。

私も、先輩が出来て、仕事を教える難かしさをしみて感じています。

おかげさまで海外に行けるよう、私自身初めての外国なのでとても楽しみですというわけで、今月は特に気をひきしめて、がんばって仕事をしようと思います。社内旅行中は、交替休みで迷惑をおかけすると思いますが、よろしくお願ひします。

大和田 夕美

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
水野陽子
平成4年5月1日
第83号